

東日本大震災の発生から、9ヶ月が経過いたしました。

大地震、大津波、そして東京電力(株)福島第一原子力発電所事故が重なった未曾有の複合災害は、本市に甚大な被害をもたらし、多くの市民の皆様の生命や財産、さらには抱いていた夢までを奪い去りました。

深い悲しみと絶望感に包まれる中、市民の皆様の熱い想いと、世界中からの温かいご支援により、復興・再生に向けた「希望の光」が市内各地で灯り始めたものと考えております。

市といたしましても、これまで、被災された方々への生活支援に最優先で取り組むとともに、社会基盤の整備等を進め、復興への土台づくりに努めてまいりました。

また、9月には、目指すべき「復興の姿」を示した「市復興ビジョン」を、10月には、公共施設等の復旧に係る工程を示した「市復旧計画」を策定し、復旧・復興に向けた考え方を明らかにしたうえで、今回、「市復興ビジョン」に基づく具体的な取組みを示す「復興事業計画」を策定したところであります。

今後におきましては、「日本の復興をいわきから」の強い想いのもと、市民の皆様の安全・安心の最大限の確保と、震災前にも増して活力に満ち溢れた持続可能なまちの創造に向け、「オールいわき体制」で、この計画に位置づけられた事業や取組みを着実に実施し、前例のない複合災害からの再生モデルを世界に発信してまいります。

この計画が、復興・再生に向けて灯り始めた「希望の光」をさらに大きなものとし、併せて、本市の未来を担う子どもたちが、愛する「ふるさと・いわき」において、地域への「誇り」と自らの「夢」を取り戻し、力強く歩み続けるための一助となることを切に願います。

平成 23 年 12 月

いわき市長 渡 辺 敬 夫